いろは新聞

令和４年 １月発行 第44号
発行元：福生市立中央図書館

福生市熊川 850-1
TEL：042-553-3111

福生市立図書館
ヤングアダルトページ

https://www.lib.fussa.tokyo.jp/young/

図書館ＹＡトピックス

みなさんこんにちは！
２０２２年一回目のいろは新聞です！今年もＹＡ世代のスタッフが、すてきな本を紹介します！

今回のいろは新聞は、スタッフのほかに福生第二中学校の生徒さんたちが参加してくれました。前号の福生第三中学校の生徒さんの対談・書評に引き続き、今回は生徒さんそれぞれが書評を書いてくれています。中学生が選んだおすすめの一冊、この冬の間にぜひ読んでみてください。

また、今回は図書館から「図書館員がＹＡ世代の頃に読んだ本」として、「Ｔｕｇｕｍｉ」をピックアップしてみました。今から３０年くらい前に書かれた本ですが、吉本ばなな氏のカジュアルな読み心地がイマドキの若者にもしっくり受け止められると思います。ぜひ読んでみてください。

今後もヤングアダルト世代からの本をたくさん紹介していきたいと思います！

（図書館）

スタッフが選んだおススメ本コーナー

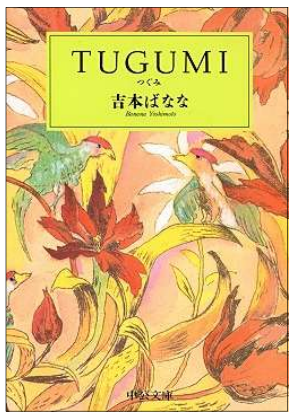
『青の数学』

王城夕紀／著
新潮社 新潮文庫（二〇一六年）

皆さんは数学は好きですか？好きな人には特に読んでいただきたいこの本。ライバルと出会い、競う中で、「数学とは何か」に対する答えを探していく。数学に全てを懸ける少年少女の青春物語。

読み進めていくたびに、意識したことのない身の回りの数字が気になっていくはず。ぜひ、この本を思い出しながら数字を探してみてください。きっと世界が広がります。

図書館員がＹＡ世代の頃に読んだ本！



『Ｔｕｇｕｍｉ』

吉本ばなな／著
中央公論社（一九九二年）

『たしかにつぐみは、いやな女の子だった』

主人公のまりあは、夏休みになると、病弱で生意気ないとこのつぐみと、その姉の陽子が暮らす海辺の町に帰ってきます。

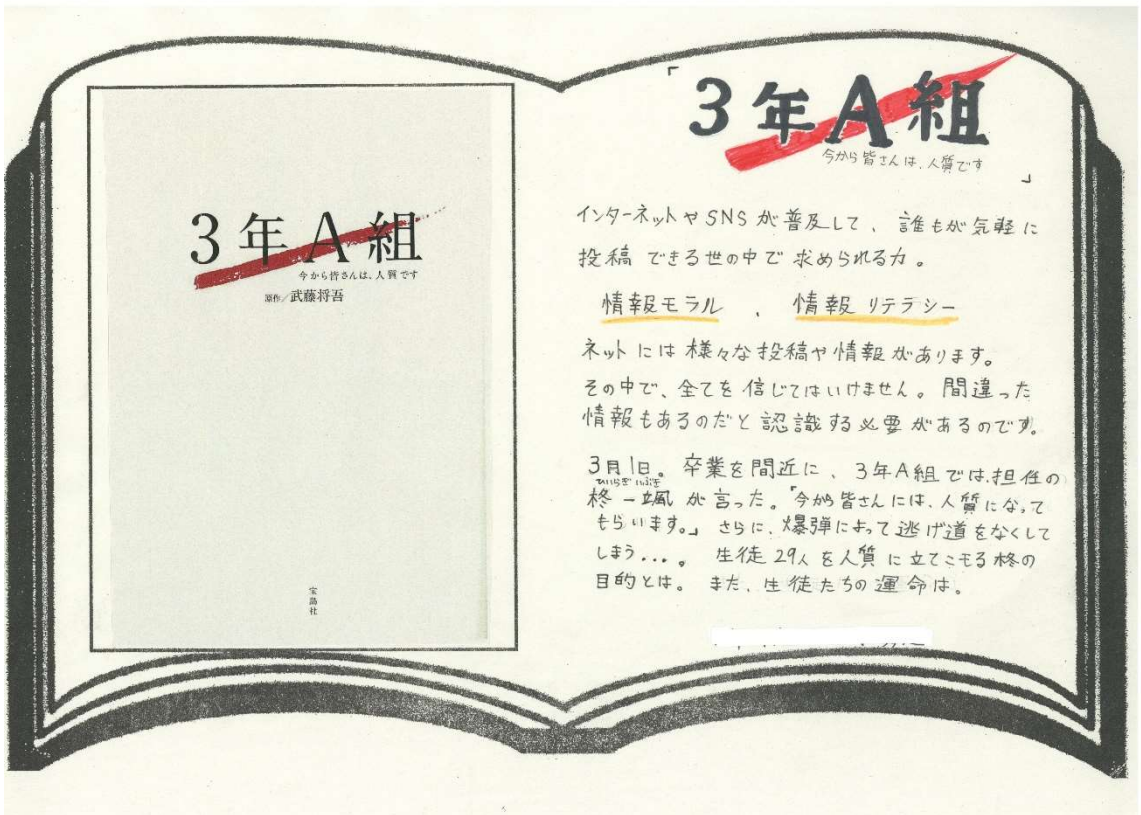
このつぐみ、町では評判の美少女ですが、体調が悪いと家族に八つ当たりしたり、いたずらでまりあのおじいちゃんの手紙を偽造したりと、性格はとてもわがままでひねくれています。いやな女の子だけどなぜか憎めない、そんなつぐみにまりあと陽子は振り回されっぱなし。

しかしある日、町に恭一という男の子が現れます。やさしく穏やかで、つぐみの言動にもまったく動じない恭一ですが、どうやら町には彼を快く思わない人もいるみたいで…？

出版は古い本ですが、登場人物たちの気持ちや考えはきっと今の人でも共感できるはず。はじめて読むのにどこか懐かしく感じる、不思議なひと夏の物語をどうぞ。

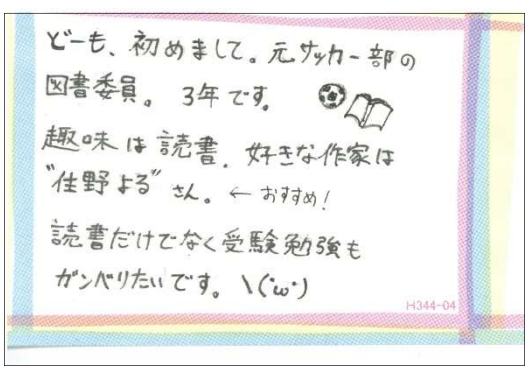
福生第二中学校より 中学生がすすめる本！

今号は福生二中の生徒が参加してくれました！彼らが選ぶ三冊をご紹介します！



『3年A組 今から皆さんは、人質です』

武藤 将吾／著・原作 宝島社（二〇一九年）



▲元サッカー部の図書委員さんおすすめの一冊！